

## 《課題名》

間質性肺炎における呼吸機能検査・胸部 CT 画像を用いた複合的解析

## 《研究対象者》

2011年4月より2018年7月までに滋賀医科大学呼吸器内科において間質性肺炎と診断された方

### 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

#### （1）研究の概要について

研究課題名：間質性肺炎における呼吸機能検査・胸部 CT 画像を用いた複合的解析

研究期間： 承認日～2028年3月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 呼吸器内科 中野恭幸

#### （2）研究の意義、目的について

間質性肺炎における標準的な検査項目の一つとして胸部 CT 画像所見が用いられています。胸部 CT 画像における病変の程度を視覚的に評価することで病態の進行具合や治療反応を評価しています。しかし、視覚的に評価することにより評価者間で少なからず差が出てしまいます。そのため、胸部 CT 画像を、画像解析ソフトを用いて評価することにより、病変部位の程度や治療反応をより正確にかつ客観的に評価（定量的 CT 解析）することが求められています。また、呼吸機能検査も間質性肺炎の病態の進行具合や治療反応の評価を行う際の重要な検査項目です。世界的な臨床試験などではこの呼吸機能検査の変化を絶対的な指標として用いています。しかし、喫煙の有無、体格や筋力、そして検査がうまくできるかどうかで値が左右することもあります。今回我々はこの2つの検査項目を複合的に解析することで、間質性肺炎の病態把握ならびに治療法の改善に役立てることを目的としています。

#### （3）研究の方法について

2011年4月から2018年7月までに当院にて間質性肺炎と診断された患者様の胸部 CT 画像と所見、呼吸機能検査結果（FVC、FEV1、DLC0、RV、TLC、PEF、フローボリューム曲線）診療記録内容（年齢、性別、現病歴、既往歴、喫煙例、家族歴、身長・体重、BMI、体表面積、白血球、CRP、LDH、A1b、KL-6、SP-D、膠原病自己抗体）を併せて解析します。本研究は滋賀医科大学倫理委員会の承認を得て実施されています。個人情報厳密に保護されます。

#### （4）個人情報の取扱いについて

研究にあたっては個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。個人情報は厳密に保護されます。

#### （5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

#### （6）問い合わせ等の連絡先

（研究責任者）：中野 恭幸

（研究担当者）：仲川 宏昭

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学 呼吸器内科

Tel: (077)548-2212 Fax: (077)548-2212 E-mail: hqresp@belle.shiga-med.ac.jp